

2022年8月15日

JLOM 構成メンバー各位

日本東洋医学会会長 伊藤隆
第1回漢方医学国際シンポジウム会頭

いつもお世話になっております。

このたび日本東洋医学会では第1回漢方医学国際シンポジウム(web)を開催いたしますことをご連絡申し上げます。

このシンポジウムは厚労省に伝統医学担当者の設置のための政治活動の一環です。

背景をご説明申し上げます。

2022年1月に伝統医学章が新設されたICD11が発効しました。

これを機に中医学の国際化標準化が進むことが予想されています。

厚労省はICD11の採用を明言していますが、日本提案の伝統医学病名については採用しないとの議論があると聞いている状況です。くりかえされる漢方薬の保険薬価削除提案、生薬の国内生産の不良、鍼灸が医療で十分活用されていない、これら諸問題の根源は政府部内に伝統医学の部局がないことに由来いたします。

今回の国際シンポジウムは、伝統医学担当官設置への動きを推し進める活動の一環として、伝統医学とエビデンスの両方を重視した日本の漢方医学の姿勢を国際的に発信すべく企画いたしました。これにより中国、韓国、欧米からの反応が高まり、設置せざるをえない状況になることを期しております。

メインイベントはCOVID19に対する学会主導研究の発表です。内容は新聞等マスコミに発表される見込みです。きちんと漢方を認めてもらうためのエビデンスをようやく発表できるのです。この研究にご支援ご尽力いただけた皆様方にあらためて感謝を申し上げます。

8月26日27日のライブだけでなく、オンデマンドセッションについては10月末まで視聴できます。参加費は医師3万円、薬剤師1万5千円、鍼灸師1万円と決して安くはありませんが、この活動のための寄付とお思いになってご支援いただきたく存じます。なお、第39回和漢医薬学会(8/27,28)ご参加の先生にはクーポンコードが配布され、割引が適用されます。不明の点は伊藤までお問合せください。

どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

記

第1回漢方医学国際シンポジウム(<https://jsom-1st-international-symposium.com/jp/>)

開催日 2022年8月26日～27日(オンデマンド配信期間8月31日～10月31日)

プログラムは学会 homepage をご参照ください。

以上